

議会 だより



こがし
古河市

第 **49** 号

平成 29 年 3 月 15 日
編集／議会だより編集委員会
発行／古河市議会
ホームページ

古河市議会

検索



認定第 10 号	
投票総数	23
賛成	23
反対	0

【リニューアルした議場：左「質問席・書画カメラ」、右「モニター（採決システム）」】

平成 28 年 第 4 回定例会 開催

第 4 回定例会は 12 月 27 日から 1 月 18 日までの会期 23 日間で開かれ、諮問 2 件、認定 1 件、報告 6 件、議案 28 件について審議しました。一般質問は 1 月 13 日、16 日、17 日の 3 日間行われ 12 名の議員が登壇しました。また、12 月 27 日に議員提出議案 1 件、最終日には議案 2 件、議員提出議案 1 件が追加されました。請願 4 件、陳情 2 件については、3 ページの一覧表のとおりとなりました。

平成28年 第4回定例会議決一覧表

議案番号	件名	議決日	議決結果
諮問第7号 諮問第8号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	28.12.27	同意
認定第24号	平成28年度古河市一般会計補正予算(第3号)の専決処分の報告及び承認を求めることについて	28.12.27	承認
議案第88号	古河市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	28.12.27	同意
議案第89号	古河市議会議員報酬等条例の一部改正について	29.1.18	原案可決
議案第90号	古河市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	29.1.18	原案可決
議案第91号	古河市職員の給与に関する条例の一部改正について	29.1.18	原案可決
議案第92号	古河市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	29.1.18	原案可決
議案第93号	古河市税条例等の一部改正について	28.12.27	原案可決
議案第94号	古河市国民健康保険税条例の一部改正について	28.12.27	原案可決
議案第95号	片田南西部土地区画整理事業保留地処分金基金条例の廃止について	29.1.18	原案可決
議案第96号	古河市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	29.1.18	原案可決
議案第97号	古河市し尿処理場設置条例の廃止について	29.1.18	原案可決
議案第98号	古河市内における太陽光発電設備設置に関する条例の制定について	29.1.18	原案可決
議案第99号	古河口市営住宅条例の一部改正について	29.1.18	原案可決
議案第100号	古河市駅西地域交流センターの設置及び管理に関する条例の制定について	29.1.18	原案可決
議案第101号	古河市勤労青少年ホーム・古河市働く女性の家の指定管理者の指定について	29.1.18	原案可決
議案第102号	古河市斎場の指定管理者の指定について	29.1.18	原案可決
議案第103号	古河市総合公園、古河市ネーブルパーク、古河市三和ふるさとの森の指定管理者の指定について	29.1.18	原案可決
議案第104号	市道の路線廃止について	29.1.18	原案可決
議案第105号	市道の路線認定について	29.1.18	原案可決
議案第106号	平成28年度古河市一般会計補正予算(第4号)	29.1.18	原案可決

平成28年 第4回定例会議決一覧表

議案番号	件名	議決日	議決結果
議案第107号 から第114号	平成28年度古河市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）ほか7特別会計補正予算	29.1.18	原案可決
議案第115号	平成28年度古河市水道事業会計補正予算（第2号）	29.1.18	原案可決
議案第116号	古河市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	29.1.18	同意
議案第117号	古河市監査委員（識見を有する者）の選任につき同意を求めることについて	29.1.18	同意
議員提出 議案第8号	古河市議会会議規則の一部改正について	28.12.27	原案可決
議員提出 議案第9号	地方議会議員の厚生年金の加入を求める意見書	29.1.18	原案可決

請願・陳情一覧表

番号	件名	提出者	審議結果
平成28年 請願第4号	臨時国会でTPP協定を批准しないことを求める請願	茨城県西農民センター 会長 飯田 和夫	審議未了 (※)
平成28年 請願第5号	「後期高齢者の保険料軽減特例の継続を求める意見書」の提出を求める請願書	茨城県社会保障推進協議会 代表委員 瀧澤 利行	継続審査
平成28年 請願第6号	「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書の採択を求める請願	一般社団法人茨城県保険医協会 代表理事 宮崎 三弘	継続審査
平成28年 請願第7号	小中学校の給食費の保護者負担軽減を求める請願	新日本婦人の会 古河支部長 野田 初江	継続審査
平成28年 陳情第10号	市民サービス窓口の受付時間（電話対応含む）の延長を求める陳情	おやま高正と信じられる 古河市をつくる会 小山 高正	趣旨採択 (※)
平成28年 陳情第13号	「奨学金制度の改善と教育費負担の軽減に関する意見書」の採択を求める陳情	日本労働組合総連合会茨城県 連合会県西地域協議会 議長 樋口 健一	継続審査

※審議未了…審議期間中に議決に至らず、継続審査の決定もされずに議会の会期が終了したもの。

または継続審査とされたもので、結論が出ないまま議員の任期が終了したもの。

※趣旨採択…請願・陳情の願意は妥当だが、その一部の実現が困難と思われ、「趣旨については賛成」とするもの

第4回定例会 一般質問

12名の議員が市政を問う
◆一問一答方式を採用◆

生沼 繁 議員

古河駅東部土地区画整理事業について

問 この事業は現在、古河市が実施している最大の事業（事業費約203億円）であり、20年経て、現在まで約85億円の支出。あと約118億円を投入して完成するが、次について伺う。①ここまで事業の遅れた要因は何か。②早期完成に向けて取り組むべき課題は何か。③不良土（処理費）についての認識と今後の処理は。④市長は任期中に完成の

めどを付けると公表されたが、そのプロセスやスケジュールを公表すべきについて。⑤事業の促進を図るには財源の確保が必要であるが、保留地の処分先について検討されているか。⑥地価の下落や不良土の処理費、建設費の高騰がある。現計画の大幅な見直しがあるか。

答（市長） ①補助事業の採択状況が厳しくなり、公共施設整備工事が遅れたこと、造成や不良土処理等が保留地価格の下落や工事費高騰等により遅れたことなどが要因と考えられる。②補助交付額のアップを図る働きかけ、西牛谷辺見線の早期整備については、国道125号への接続を平成30年ごろ、十間通りへの

接続は平成34年から35年ごろまでに開通を目指し、保留地や個人換地の利活用向上に努める。③累計処理金額は19億円、財源は保留地処分金である。作業量を削減するなど処理経費の減額に努めたい。④整備計画の再点検、見直しを行い、一日も早い完了を目指す。⑤経費削減、国庫補助枠拡大や保留地の効率的な早期販売の検討など、確実な財源の確保に努めたい。⑥整備計画等について調査検討し、必要があれば見直しも行いたい。



造成中の区画整理地内



稲葉 貴大 議員

工業団地造成について

問 仁連地区新産業用地について。実際にどの開発手法、どのような開発スケジュールで今後進めていくのか伺う。工業団地開発や企業誘致について近隣市町も名乗りを挙げている中、現状だと古河市が遅れをとっているような状況ではないかと感じている。スピード感を持って進めていかなければならないと考えるが、市の考えを伺う。

答（都市建設部長） 仁連地区の工業団地開発の整備手法について、スピード感を持って企業誘致に取り組むためには、市が主体となり開発行為を行うことが最もよい手法であると考えている。整備スケジュールについて、平成29年度は開発関係機関との協議および手続を進め、実施設計に着手し、平成30年度から本格的な工事を進め、平成31年度にはおおむねの区域の工事完了を目指したい。

教育の充実について

問 ICT教育の先進的な取り組みについて、古河市も昨年40件を超える視察があり、今後ICT機器を活用した教育の方向

性について伺う。魅力ある教育を進めていくためにも実績が出てきたICT教育のさらなる充実を図り、児童生徒の学習環境の整備も必要だと考える。

答（教育部長） ICT教育について、取り組んできた内容をさらに洗練させ効果的に進めていくとともに、学校で日常的にICT機器を活用できる環境づくりについても段階的に整備を進めたい。また、児童生徒の発達に応じて情報モラル教育も充実させていきたい。





増田 悟 議員

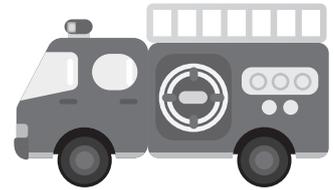
アパート火災について

問 市長の家族が経営するアパートの火災原因について伺う。消防関係者の話ではガス栓は閉まっていた。放火の疑いもない。たばこの火は判断できない。原因不明とされた。火災翌日に建物を壊してしまったと聞かすが、亡くなった人がいるのに近所の人や消防関係者からもおかしいと話を聞いている。証拠隠滅の恐れがあるのではないのかとの声も聞いた。家主として火災予

防の対策は十分とっていたのか。安全のための漏電ブレーカーは設置されていたのかどうか。新築なら100%設置だが、漏電ブレーカーが設置されていれば漏電火災がない。賃借人は着る物、家財のすべてを失い、24歳の男性の焼死までであった。市長の経営する保険会社の保険に加入していたようだが、焼け出された人たちへの家主責任はないのか伺う。

答（市長） 火災翌日に建物を解体したという事実はない。警察および消防署の原因調査後の立ち入り規制解除後に罹災（りさい）証明を申請し、受領日以降に解体しており、火災から解体までに2週間以上経過している。家主として火災予防の対策はと

られていたかどうかについて、茨城西南広域消防本部に確認したところ、火災建物に住宅火災警報器は設置されており、出火時発報していた。漏電対策は一般住宅において消防法の規定はなく、火災原因調査では焼損が激しく機器の確認はされていないとの回答を受けている。家主の責任について、出火原因が不明であり、建物等に瑕疵がなければ家主の責任はないということが一般的な話である。



倉持 健一 議員

農業の活性化は

問 我々の生命があるのは、農家が農畜産物を生産しているからであり、市の大切な基幹産業である。だからこそ農家の後継者育成は重要な責務である。しかし、耕作放棄地がたくさんあり、自給率は先進諸国において最下位である。市長をバックアップする自民党が進めるTPPは関税撤廃という面から考えても、まさに逆風であり後継者は育ちにくい。市長の考えを伺う。

答（市長） 市の農業の維持のため、後継者や新規就農者の確保、育成に向けて関係機関と連携を図り支援を行っている。耕作放棄地対策として、国の交付金事業活用や経営体育成支援事業により、積極的に取り組んでいく。TPPについて、国内対策の動向を注視し対応していきたい。

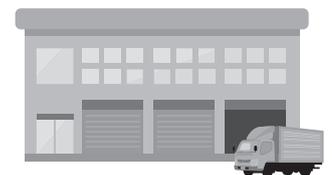
答（産業文化部長兼文化局長） 後継者対策として市単独事業に新規就農支援研修事業があり、研修費助成を実施している。

選挙前に出したチラシには、日野関連の誘致はゼロなどのうそ・でたらめが書いてあり、選挙の妨害になり、調査の必要がある。市長の考えを伺う。

答（市長） 日野自動車進出に伴う関連企業の進出について、カウンターの仕方や認識の違いによる差異と考えている。選挙について評価をするのは選挙民だと思う。調査委員会等々については議会のほうでの問題である。

企業誘致について

問 企業の誘致は、財源の確保、雇用の促進、更には古河市への移住にも繋がる。そんな中、日野自動車関連の企業誘致が数社あるにも関わらず、現職議員が





秋山 政明 議員

高齢者が安心して暮らせるまちづくりの現状と今後の具体策について

問 市長が掲げた公約のうち、高齢者が安心して暮らせるまちづくりに関して、市のこれまでの現状と対策、市長が考える新たな対策について問う。始めに市の現状について①高齢者が安心して暮らせるまちづくりの考え方②介護施設待機者解消に向けて行っている施策について③老老介護ゼロ化に向けて行っている施策について問う。

答（健康福祉部長） ①古河市高齢者いきいきプランで、重度な要介護状態になっても可能な限り住み慣れた地域で暮らし続けることができることを基本理念としている。②介護保険事業計画に基づき、特別養護老人ホーム590床が整備済である。さらに90床を整備予定である。③介護施設整備を計画し、施設入所の拡大を進めている。在宅介護サービスも対策として実施している。

問 市長が考える具体的な対策について①高齢者の社会参加の機会をどのように創出するのか②新たな発想で介護施設待機者の解消に努めるとあるが、その具体策について③老老介護ゼロの実現可能性とその具体策につ

いて問う。

答（市長） ①社会参加は特に限定されず、多くの事業や活動で展開されるものである。活動の場を創出し、支援していきたい。②介護従事者不足解消のため、施設へ研修や講座案内等の情報提供を行う。介護従事者の負担軽減のためのロボットの導入や関係機関と連携し、待機者ゼロを目指したい。③実現可能性がゼロでないと感じており、施策を進めたい。世帯ごとに必要な支援は異なる。十分検討したい。



長浜 音一 議員

市長の教育政策について

問 ①市長の古河市の学校教育に対するビジョン②どんな考え方をもち目標達成に向かうのか。③ICT教育におけるプログラミング、プレゼンテーション、アクティブラーニング等の有効性に関する見解は。

答（市長） ①2020年施行の次期学習指導要領にのっとり取り組んでいきたい。②豊かな心と将来への夢を育むための基盤とな

る道徳教育の充実や郷土愛の育成に取り組むたい。③実現に必要なICT機器の環境整備、指導者育成のほか、教職員研修体制の充実に取り組むたい。

今回の市長選を視る

問 ①選挙公報等からの「はりや力5つの約束と3つの改革+1」について「子育て支援と豊かな教育の実現」「先導的プロジェクト」「産業文化拠点の整備」「入札制度」等、合併後11年間の市政運営の評価と選挙公約とした意図、その背景について、および今後の具体的な取り組みと進め方は。②市長選挙時の行き過ぎた選挙運動、特に街頭演説やチラシ配布、SNS上で人権侵害等はなかったか。

答（市長） ①市民の夢がかなうまちづくり実現のため、いずれも任期期間を目安に実施する考えである。各項目は市民初め、地域や国、県と連携、協力をしていかなければならない。事業実施の可能性を見極め、方針を打ち出していく。公平性、整合性を鑑み、他自治体例や財源確保も視野に優先順位を決め、取り組むたい。②特段の人権侵害はなかったものと認識している。



信憑性に欠ける中傷ビラ（一部議員発行）



園部 増治 議員

市長公約について

問 昨年11月の選挙戦では、合併時の新市建設計画を着実に実行していくこと、子育て支援や医療の充実、国、県との連携など合併して良かったというまちづくりを目指していくことを市民に訴えた。選挙戦を振り返り感じたことと抱負について伺う。公約の中で、市民の夢がかなうまちづくりとして示された先導的プロジェクトの第1に南古河駅の設置、第2に筑西幹線道路

の整備、第3に高等教育機関の誘致、第4に産業文化拠点の整備があるが、市長自身が合併協議会の委員をしていたこともあり、強い思い入れがあると思う。古河市の将来にとって大変重要なプロジェクトであると思うが、その推進について伺う。

答（市長） 選挙戦では、市民の思いを肌で感じる事ができた。その信頼に応えるべく、市民と共に汗をかき、市民の夢がかなうまちづくり実現のために、ただ実践あるのみと決意を新たにしている。新市建設計画について、南古河駅の設置は合併当時の状況変化を鑑み、現状の把握、事業予測を含めた基礎調査を実施し、更なる一步を踏み出したいと考える。筑西幹線道路

整備は、財源の問題もあるが、新4号国道から境間々田線まで平成32年度の事業完了を目安に進めていく。高等教育機関の誘致は、昼間人口を増やすことを視野に入れ、私立高校、中高一貫校、専門学校等の誘致を目指す。産業文化拠点としての古河駅東部土地地区画整理事業は、一日でも早く完了するように積極的に取り組んでいく。

《その他の質問》

・産業振興について



(仮称) 南古河駅予定地付近



鶴見 久美子 議員

健康格差対策について

問 生まれ育った家庭や就いた職業など、さまざまな要因により健康状態の悪化や寿命が短くなるなどの健康格差が生じる。厚生労働省は市町村において、具体的な健康増進計画の目標を設置するよう努めるとしているが、市としてどのように計画を立てて推進しているか伺う。また足立区では、足立区糖尿病対策アクションプラン「あだちべ

ジタベライフ～そうだ、野菜を食べよう」と糖尿病対策に重点を置き、取り組んでいる。医療費削減や健康格差対策、健康増進にもつながると考えるが所見を伺う。

答（健康福祉部長） 市の健康増進の取り組みについて、平成26年度に第2次古河市健康づくり基本計画を策定した。市民一人一人が自らの健康は自ら作るという意識を持っていただくために、各種事業を実施している。また、足立区の取り組みについて、非常に先進的である。今後、地区組織や関係機関との連携や企業などの団体とも協力しながら、市民の健康づくりを推進していきたいと考えている。

電子母子手帳サービス導入について

問 電子母子手帳サービスは、従来の母子手帳を補完し、スマートフォンなどで利用でき、赤ちゃんの成長記録の管理や健康診断等の日程を知ることができる。市の所見を伺う。

答（健康福祉部長） 電子母子手帳について、メリット、デメリット等、さらに他市町村の情報も研究しながら進めていきたい。



足立区の取り組み



高橋 秀彰 議員

学校施設の非構造部材の耐震化対策について

問 昨年の熊本地震では、体育館の強度を維持するブレース破断や天井、窓ガラス、配管破損、外壁の損傷や落下が相次ぎ、熊本県内の公立学校73校の体育館が避難所として機能できない状況であった。今後、本市も、これら非構造部材の耐震点検を入念に行い、早期に異常等を発見し、耐震化対策を進めることが重要と考えるが、どうか。

答（教育部長） 学校施設の非構造部材の耐震化について、最も危険な天井の対策は講じたので、屋内運動場の取り付け状況等の点検を行い、危険と判断されるものは早期に落下防止対策等を進める計画である。また、定期的な安全点検については、教職員だけではなく、専門業者による点検も行い、施設等の異常を早期発見、早急な対策を講じることで、児童生徒の安全確保に努めたい。

古河市の生物多様性地域戦略について

問 地域の生物多様性を次代に引き継ぐ、魅力あるまちづくりを積極的に進める必要があると思う。本市の特性を生かした、古河市の生物多様性地域戦略の

策定について所見を伺う。

答（市長） 生物多様性地域戦略の策定について、積極的に取り入れられたらと思っている。

答（生活安全部長） 策定に当たっては、ボランティアや民間企業との連携や人員、予算、専門知識を要するので、環境基本計画を初めとした他の計画との整合性を鑑みながら展開できるよう今後も県と連携し、生物多様性の研修参加等を実施していく。



古河公方公園



佐藤 稔 議員

外来初診料の免除について

問 平成30年度に廃止となる、子ども医療費の助成制度に対する国の補助金減額措置の厚生労働省発表の内容と、今後の未就学児の外来初診料免除の可能性について、市の考えを伺う。

答（市長） 外来初診料免除について財源を検証し、制度設計を検討して早期に実現させたい。

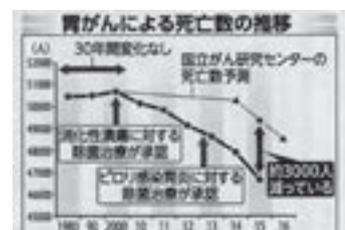
答（生活安全部長） 補助金減額廃止について、平成30年4月1

日から、未就学児までを対象とする医療費助成は、国民健康保険の減額措置を行わないという改正通知が出された。

「ピロリ菌」の検査と除菌治療に助成制度を

問 世界保健機関は、胃がんの約8割は「ピロリ菌」が原因と報告している。胃がん撲滅への近道は「ピロリ菌」の検査と除菌治療が気軽に受けられる環境作りが重要であり、この費用に対する助成制度導入を提案するが、市の考えを伺う。

答（健康福祉部長） ピロリ菌助成制度に積極的に取り組む先進自治体を参考に、国の内視鏡検査の指針や医師会等の意見も伺い、平成29年度に検討したい。



※厚生労働省人口動態及び、がんセンターがん情報サービスホームページより作成

「公設ドッグラン」の設置を

問 愛犬家の皆様から要望のある「公設ドッグラン」の設置を提案するが、市の考えを伺う。

答（生活安全部長） 公設ドッグランの設置に向けては課題があり、慎重な検討が必要である。

《その他の質問》

・特別の教科「道徳」の実施について



秋庭 繁 議員

市長の選挙公約の実現見通しについて

問 ①「子ども医療費、外来入院自己負担ゼロにします」は日本共産党が一貫して求めてきたものである。具体化への考えを伺う。②産業文化の拠点整備について、古河駅東部土地画整理事業を4年間でめどを付けるとあるが、文化施設とは4年前に問題になった総合的文化施設のことなのか。建設場所、規模や資金計画等について伺う。③待機児童の問題について、旧三

和地区に公立の保育所設置と100名を超える非正規職員の待遇改善と正職員化で保育の充実と質の改善向上を図るべきでないか。④小中一貫教育と名崎小学校の問題について伺う。

答（市長） ①子ども医療費自己負担分無料について、市民に喜んでいただける持続可能な制度をつくりたい。検討する時間をいただきたい。②産業文化拠点整備について、古河駅東部土地画整理事業の推進と土地の活用方法を検討しながら考えていきたい。③三和地区に公立保育所を整備することについては、待機児童の状況を見ながら見極めたいと考えている。非正規保育士の正職員化について、公立保育所の再編や整備計画の中で

検討していく。④全くの白紙である。名崎小学校について自分の考えとして統廃合反対である。

過去に例のない低投票率について

問 旧古河市の市長選は投票率が70%を超えていた。今回47%という結果だったが、なぜこんな低い投票率になったのか。

答（市長） 市長選に限らず、全般的な投票率を上げる方策を考えていかなければならない。



環境調査で、ヒ素が検出された古河駅東部土地画整理地内



落合 康之 議員

副市長二人制について

問 副市長二人制は所信表明における経常経費の抑制、歳出削減の取り組みと相反するものであると考えられるが、市長のお考えはいかがか。また、副市長人件費が向こう4年間でいくらになるのか教えてほしい。

答（市長） 副市長二人制導入について、古河市副市長の定数を定める条例で副市長の定数を2名と定めている。トップマネジ

メントの強化を目指し、二人制がよろしいのではないかと新聞記者に語った経緯はあった。

答（総務部長兼危機管理監） 副市長の人件費は4年間で約7,110万円となる。

再質問 市役所内には優秀な職員たちが800名以上働いている。優秀な人材を育てていく気持ちがなければ経常経費は削れるわけがない。内部から人を育てることのご意見をいただきたい。

答（市長） 副市長二人制について、議員からの内部から昇格させたほうがいいのかという意見だが、検証・検討しながら意思決定のうえ、議会に提案させていただきたい。

再々質問 経常経費の削減を言うのであれば、職員に手本を見せ、人を動かす基本が何なのか確認していただきたい。

答（市長） お金の使い方等について、まず手本を示しなさい、全くそのとおりであろうと思っている。100万円かかったら、それについての評価はいろいろなものがあるかと思う。有効か無駄なのかというのはある意味認識の違いだと思う。



議会本会議場副市長席

総務常任委員会 行政視察報告

期 日 平成28年10月31日から11月2日
 研修地および 石川県金沢市
 調査事項 空き家等管理・活用計画について
 長野県長野市
 定住人口の増加政策について

古河市には700軒もの空き家が報告されている。管理状態が悪い場合は倒壊の恐れもあり、対策は喫緊の課題である。

金沢市では早い時期に空き家管理・活用計画を策定し、運用実績もあることから調査を行うこととした。

視察では空き家活用バンクが本来の趣旨で利用されていないこともわかり、古河市において利活用を検討する場合は、十分注意して制度化するように進言させていただいた。

また、長野市では人口減少対策について研修させていただいた。課の名称を人口減少対策課から人口増推進課に変えるほどの気合の入れよ

うである。古河市も斬新的な施策を考案し、課題解決、その改善に向けて全力で取り組んでいきたいと考えている。



行政視察（長野県長野市役所）

文教厚生常任委員会 行政視察報告

期 日 平成28年10月12日から10月14日
 研修地および 山形県南陽市
 調査事項 「南陽市文化会館」木を生かした文化拠点づくりについて
 山形県新庄市
 「新庄市立萩野学園」小・中一貫校について

今回の委員会行政視察研修では、山形県南陽市と新庄市を訪問した。

南陽市の文化会館は、地元産資材を生かした木づくりで、大ホールや小ホール等からなる大規模施設でありながら、温かみもある素晴らしい施設であった。文化発信拠点としての機能はもちろん、年間23万人の利用者があり、交流人口増による地域振興策としても大きく貢献しており、大いに参考となる点があった。

新庄市立萩野学園では、開校までの経緯、保護者や生徒への配慮等具体的な取り組みを学ぶことができ、実際の生徒の学校生活や成長に合わせ考えられた制度や施設が数多く見られた。

改めて、理想の古河市の実現に向けてまい進していきたいと感じられた研修であった。



行政視察（山形県新庄市立萩野学園）

産業建設常任委員会 行政視察報告

期 日 平成28年10月26日から10月28日
 研修地および 岡山県津山市
 調査事項 農商工連携推進計画について
 岡山県高梁市
 観光戦略アクションプランについて

当委員会では、岡山県津山市と高梁市を視察してきた。

津山市では、農業に軸足を置いた取り組みを、10年間という長期計画で生産・開発・流通を一貫して市が行ってきた。特産品の開発などは農業者側、販売業者側それぞれの現状や課題も把握し、生産意欲や販売意欲の向上に努めている。産業振興の情熱と技術を、市の発展に生かしたいとの強い思いを感じた。

高梁市では、官民一体となり4つの基本戦略のもと「観光アクションプラン」を立ち上げ、観光まちづくりを進めてきた。各地区ごとの課題を解決するなど、特徴を生かす上ではとても

重要な事だと感じた。さらに10年後を見据え、目標を明確にして効果を挙げていきたいとの強い意欲を感じた。



行政視察（岡山県津山市議会議場）

議会運営委員会 行政視察

期 日 平成28年7月13日から
 7月15日
 研修地 北海道登別市・室蘭市
 調査事項 議会改革について

昨年7月13日～15日の日程で登別市、室蘭市において議会報告会他の研修を行った。登別市では、議会フォーラムとして、各委員会の報告と市民との意見交流の場として毎年行っていた。また、本会議、各委員会も中継を開始しており、議員一人一人にパソコンを貸与し、議会のIT化を推進している。さらに議会基本条例に基づいたチェックシートを導入し、議員自己評価表を作成している。

室蘭市においては、年三回各地区ごとに、市民との意見交換会としてテーマを決めて実施しているとのことである。当市においても実施に向けていきたいと思う。

古河未来創造特別委員会行政視察

期 日 平成28年10月17日から
 10月18日
 研修地 新潟県長岡市・燕市
 調査事項 新庁舎建設について

新庁舎建設について研修を行うため、新潟県長岡市と燕市を視察してきた。

長岡市は、市役所の本庁機能と市民交流機能を併せ持つ複合施設で、利用者の利便性とまちなかのにぎわいを考えた中心市街地活性化の拠点となっている。

燕市は、市街地から離れているが機能性・効率性を重視した「無駄を省いたスリムな庁舎」で、警察署が隣接している。旧庁舎の有効利用についても話を伺った。

今回の結果をもとに、委員会として古河市の発展に寄与するよう新庁舎建設に向けての提言を取りまとめていく。

～ 会派の活動を報告します ～

真 政 会

10月6～7日に岡山市で開催された「第78回全国都市問題会議」に参加した。全国市長会他3団体の主催による会議で、当会派は毎年参加している。今回のテーマは「人が集いめぐるまちづくり」であった。人口減少社会の中で、人を惹きつけるまちづくりの在り方について学ぶ

ことができた。

また、第3回定例会終了後の10月初旬に会派としての議会報告「2016年秋号」を発行した。

さらに、新年度予算編成にあたり予算および事業に関する要望書を、針谷市長宛てに提出した。古河市の未来のために、公約実現に向けて、市民と共に汗をかき、市民の夢がかなうまちづくりを実践していただくよう要望した。



針谷市長に要望書を提出

会 長	黒川 輝男
副会長	鈴木 隆
幹事長兼会計	園部 増治
相談役	赤坂 育男

古河市公明党

古河市公明党は昨年12月、市長宛に「平成29年度予算編成に関する要望書」を提出しました。この「予算要望書」は、日頃の議員活動の中で、市民の皆様から頂いたご意見やご要望をはじめ、会派で行ってきた調査・研究から培った政策提案を取りまとめたものです。平成29年度の

予算編成に当たり、「行財政改革・防災・減災・高齢者福祉・障がい者福祉・健康増進・子育て・環境・産業振興・教育など」各分野における101項目の要望を提出しました。

私たち古河市公明党は、生活者の視点から「支え合う街づくり」「魅力ある街づくり」「安心な街づくり」「活気ある温かな街づくり」を目指し、適正な予算の編成と執行により、要望が

古河市政に反映されるよう、これからも全力で取り組んでまいります。



予算要望書と古河市公明党



古河維新の会

古河維新の会は古河市の基幹産業のひとつである農業の視察研修に昨年9月に岩手県に行った。初日に行った小岩井農場では、3,000ヘクタールの生産農場として農林畜産をベースにした事業を展開している。研修では、農場を始め、健康な牛を育てるための環境作りの一環とし

て建設したフリーストール式の牛舎や木造4階建倉庫、バイオマスパワーしずくいし、天然冷蔵庫、上丸牛舎、森林経営を総合的に理解するための法正林モデルなどを視察した。

翌日は葛巻町の交流館プラトールにて視察した。担当より太陽光発電、風力発電、畜ふん、木質バイオマス化発電等エネルギー導入について伺い、その後くずまき高原牧場や畜ふん、木質バ

イオマス化発電施設を見学した。今後の古河においての農業や新自然エネルギー等について考え、古河市の各施設などでも太陽光発電や新自然エネルギーを活用すべきである。



木質バイオマス化発電施設の視察

～ 会派の活動を報告します ～

政策研究会

政策研究会では、他の自治体と同様、古河市においても少子化が進んでいる現状と課題について、先進地である江別市の視察を行いました。少子化の原因は、結婚しても核家族化や仕事と子育ての両立の負担増も要因の一つであり、子どもの減少で異年齢の子ども同士の交流の減

少や過保護化による健全な成長への影響が懸念されています。江別市の子育てひろば「ぼこあ ぼこ」に併設されている“託児ルームきらら”では買い物、映画、美容室、スポーツ、習い事などお子さんを連れて行けない時に一時預ける施設です。利用者からは、自分の時間を有効に使い、安心して遊べて、思い切り体を動かせる場、また、子育ての悩みの相談や情報交換の

場として好評とのことでした。私たち会派では、これらを参考にして、より子育てしやすい環境整備を提言していきます。



“政策研究会は今後も政策提言をしていきます”

市民ベースの会

当会派は市民をベース（基本）にさまざまな活動を行っていく会派として昨年12月に設立しました。

具体的には、会派としての報告会や意見交換会などを通じて、市民とともに活動を行う会派を目指しています。

今後は、さまざまな方々と当

会派を拠点（ベース）に集まり、古河市が抱える課題や向かう方向性について話し合い、その意見を議会を通じて発信していきたいと思っています。

設立間もないため、これから市民ベースの会として、活動を積み重ねていきたいと思っています。

議会にお越しの際は気軽にお声がけください。



会長	秋山政明
副会長兼幹事長	阿久津佳子
顧問兼会計	長浜音一

議場をリニューアルしました

市民にわかりやすい議会を実現するため、古河市議会では一般質問の「一問一答方式」による質問方式の採用に合わせ、議場の改修を行いました。

質問席の設置

一問一答方式採用に伴い、議員質問席を設置しました。資料等をモニターに映す書画カメラも設置し、よりわかりやすい一般質問になります。

モニターの設置

大型モニターを2台、傍聴席用モニターを2台設置しました。

発言者の映像や電子採決の結果、一般質問の残時間等が見やすく表示されます。

議会の様子を配信

ライブ中継および録画配信による議会本会議の様子を、インターネットで見られます。アクセスについて、詳細は本誌14ページをご覧ください。

採決システム導入

議案の採決が電子採決でもできるようになりました。結果をモニターに表示させ、審議の結果がさらにわかりやすくなります。

市議会議員補欠選挙結果



あ く つ よ し こ
阿久津 佳子

葛生（1期）

平成28年11月27日に行われた市議会議員の補欠選挙で阿久津議員が当選されました。

議会を傍聴しませんか！

市議会はどなたでも傍聴することができます。

○傍聴の手続き

当日に議会事務局で住所、氏名を記入していただきます。

本会議場の定員は62名
（うち車いす席2名）です。

○傍聴場所

古河市役所古河庁舎3階

第4回定例会の傍聴者数 ※傍聴者数は延べ人数

・本会議 149人 ・委員会 8人
・議場コンサート 54人 合計 211人

議会の様子を見てみよう！
URLとQRコード

<http://smart.discussvision.net/smart/koga/>



～古河市議会報告会を開催します～

○目的 市民に身近で、より開かれた議会づくりのため

○内容 ①議会報告会
議会の仕組み、議会改革の取り組み、
定例会の報告
②意見交換会

○期日 5月20日（土）午後6時

○会場 古河中央公民館 大ホール

※参加の申し込みは必要ありません。

直接ご来場ください。

※詳細は広報お知らせ版、ホームページで
お知らせします！

一般質問において
一問一答方式を採用

古河市議会では、一般質問の内容がよりわかりやすくなるように、平成28年第4回定例会から一般質問において「一問一答方式」を採用しました。

「一問一答方式」では、通告した項目ごとに質問と答弁が繰り返されます。議員は一定の項目について質問し、市側がその質問に対する答弁を行います。その後、次の質問に移るといった繰り返しになります。

編集後記

平成28年第4回定例会は越年の日程となったこともあり、「議会だより」をお届けすることが遅くなりました。

今回の定例会では、多くの議員が一般質問を行い、活発な意見が飛び交いました。採決システムも一新し、今後、議会だより紙面においても詳しい採決の結果などを取り入れる予定です。市民のみなさまにより身近に感じていただけるよう努めてまいります。

委員長 稲葉 貴大

【議会だより編集委員会】

委員長 稲葉 貴大
副委員長 渡辺 松男
委員 秋山 政明 大島 信夫
園部 増治 渡邊 澄夫

古河市議会事務局
古河市長谷町38番18号
☎ 0280-22-5111（代）



環境にやさしい植物油インキ
を使用しています